## 超電導 Web21

(公財) 国際超電導産業技術研究センター 〒213-0012 神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1 KSP Tel: 044-850-1612

## トピックス:高温超電導の新たな展開

「圧力誘起分子解離によって生じる Tc = 200 K の超伝導体の結晶構造」

大阪大学

基礎工学研究科附属極限科学センター 榮永茉利

これまでの最高の超伝導転移温度である水銀系 銅酸化物の  $T_c$  = 164 K を大きく更新する 203 K(-70 °C)の  $T_c$  が Drozdov らにより高圧下 150 万 気圧(~150 GPa)の硫化水素で発見された <sup>1)</sup>。この 超伝導は BCS 理論により予測される限界の  $T_c$  = 40 K を大きく超えるものであった。

室温を超える  $T_c$  は、最も軽い元素である単体水素の超高圧下 400 GPa 以上で理論的に予測されていたが、水素封入や超高圧発生などの実験的困難さから実現していない。水素を多く含む水素化合物でも高い  $T_c$ が予想されているが、実験的に明らかであるのはシラン(SiH4)の  $T_c$ =17 Kのみであった  $^2$ )。近年、新たに  $H_2$ S において 160 GPa で $T_c$ =80 K が予測されていたが  $^3$ )、実際には倍以上の  $T_c$ が観測されたことになる。Drozdovらの報告の後、すぐさま理論計算によるこの超伝導物質の構造探索が行われ、硫化水素は加圧によって次式で示される分子解離を起こすことが予測された:  $3H_2$ S $\rightarrow 2H_3$ S + S $^4$ )。また、高圧下でbody-centered cubic (bcc) 構造を持つ  $H_3$ S は 200 K の超伝導を良く説明できる。

この結晶構造を実験的に明らかにするため、筆者のグループはDrozdovらと協力して放射光X線回折(XRD)・電気抵抗の同時測定をSPring-8でおこなった $^{5}$ 。図 1 に室温でのXRD 測定の結果を示す。図に示すとおり、硫化水素と重硫化水素のパターンはどちらも理論計算で予測されたbcc 構造の $H_3S$  と単体硫黄の高圧相である $\beta$ -ポロニウム構造の混相としてほぼすべてのピークを説明でき、主相は $H_3S$  であった。試料が超伝導となる低温でも室温と同様のXRD パターンが保たれていた。したがって、 $H_2S$  は理論計算が示したようにbcc

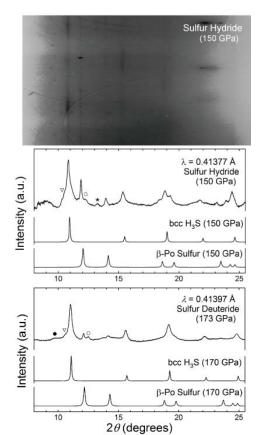


図 1. 硫化水素の XRD 測定の結果。

(上段) イメージングプレート上に露光された試料からの反射を開いたもの。

(中段) 上段を積分して得られた Sulfur hydride の XRD パターンと、bcc 構造の H<sub>3</sub>S とβ-Po 構造の単体硫黄のシミュレーション パターン。

(下段) Sulfur deuteride の XRD パターン。

の原子配列を持つ H<sub>3</sub>S と単体硫黄となると考えられる。

圧力誘起分子解離による硫化水素の超伝導が発見され、分子性構造を持つような他の水素化合物 も圧力下では高い  $T_c$ を示す可能性が示唆された。今後、水素化合物の超伝導の研究がさらに進み、 室温超伝導体の実現に向けた大きな手掛かりとなることが期待される。

## 超電導 Web21

(公財) 国際超電導産業技術研究センター 〒213-0012 神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1 KSP Tel: 044-850-1612

## 参考文献:

- 1) A. P. Drozdov *et al.*, Preprint: http://arxiv.org/abs/1412.0460 (2014), A. P. Drozdov *et al.*, Nature, 525 (2015) 73-76.
- 2) M. I. Eremets et al., Nature, 319 (2008) 1506.
- 3) Y. Li et al., J. Chem. Phys., 140 (2014) 174712.
- 4) D. Duan, et al., Phys. Rev. B 91 (2015) 180502, I. Errea et al., Phys. Rev. Lett. 114 (2015) 157004 など。
- 5) M. Einaga et al., Preprint: http://arxiv.org/abs/1509.03156 (2015).

超電導 Web21 トップページ